

12: 再生不良性貧血【成人】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 森 毅彦	慶應義塾大学医学部	血液内科
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
鈴木 律朗	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
廣川 誠	秋田大学大学院医学系研究科	総合診療・検査診断学
古川 達雄	長岡赤十字病院	血液内科
山崎 宏人	金沢大学附属病院	輸血部
山本 久史	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
衛藤 徹也	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	血液内科
大西 康	東北大学病院	血液免疫科
竹中 克斗	九州大学病院	遺伝子細胞療法部
中尾 眞二	金沢大学医薬保健研究域医学系	細胞移植学
康 秀男	大阪市立大学大学院医学研究科	血液腫瘍制御学
杉盛 千春	石川県立中央病院	血液内科
山口 博樹	日本医科大学付属病院	血液内科

2. 承認研究の進捗状況(2016年1月-12月 ※JSHCT2017を含む)

12-1	「再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植における患者 HLA の影響」 PI: 山崎宏人
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
12-2	「再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植の前処置の現状の評価」 PI: 森毅彦
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績: Mori T, Koh H, Onishi Y, Kako S, Onizuka M, Kanamori H, Ozawa Y, Kato C, Iida H, Suzuki R, Ichinohe T, Kanda Y, Maeda T, Nakao S, Yamazaki H. Impact of cyclophosphamide dose of conditioning on the outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for aplastic anemia from human leukocyte antigen-identical sibling. Int J Hematol. 2016;103(4):461-8	
12-3	「再生不良性貧血に対する 2 回目同種造血幹細胞移植の検討」 PI: 大西康
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
12-4	「再生不良性貧血に対する同種移植において、移植前処置ならびにドナータイプが混合キメラ・二次性生着不全に与える影響」 PI: 賀古真一
学会発表:	
論文業績:	
12-5	「肝炎関連再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植の現状とその治療成績の解析」 PI: 森毅彦
学会発表: Takehiko Mori, Yasushi Onishi, Yukiyasu Ozawa, Chiaki Kato, Hideo Kimura, Yoshinobu Kanda, Mineo Kurokawa, Masatsugu Tanaka, Takashi Ashida, Jun Taguchi, Takahiro Fukuda, Tatsuo Ichinohe, Yoshiko Atsuta, and Hirohito	

Yamazaki. Outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for hepatitis-associated aplastic anemia.

Tandem BMT Meetings (2017, Orland)

論文業績:

3. 会議開催記録(2016年1月-12月)

日時	場所	会議内容
3/4	名古屋国際会議場	研究の進捗状況の報告と新規研究の提案

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2016年12月末時点まで)

(109)回

5. WGの今後の活動方針・抱負など

多くのメンバーから新規の研究を提案し、我が国からの再生不良性貧血に対する造血幹細胞移植に関する情報発信に努め、治療成績向上につながる知見を明らかにしていきたい。